

病院の耐震改修状況調査票（病院用）（令和3年9月1日現在）

番号	都道府県	設置主体	機関名称	所在地 (区市町村を記載)	二次医療圏	医療法許可病床数	病院機能				Q1. 病院の敷地内で患者が利用する建物（病棟部門、外来診療部門、手術検査部門に限る）の耐震性についておたずねします。（「耐震性がある」とは、新耐震基準（昭和57年）で建設された建物及び昭和56年以前の建物であって耐震補強工事済みの建物（Is値0.6以上）のこと。） ※調査対象となる建物は、令和3年9月1日時点において使用している建物です。	Q2. Q1でB,Cと回答した病院は回答して下さい。					
							災害拠点病院	救命救急センター	二次救急医療機関	左記以外			A 全ての建物に耐震性がある	B 耐震診断を実施した結果、一部の建物に耐震性がない	C 耐震診断を実施した結果、全ての建物に耐震性がない	D 耐震診断を実施していない（耐震性が不明）	当該耐震性のない建物の構造耐震指標（Is値）はいくつですか。（複数の建物がある場合は最低値を記載して下さい。〈注意〉1つだけ記載して下さい。2つ以上記載しないで下さい。）
							耐震性がない建物の用途を記載して下さい（自由記載）	耐震性がない建物の延床面積(m ²)を記載して下さい（概算で結構です）	耐震性がない建物の延床面積(m ²)が不明の場合は○を表示して下さい	建物の延床面積(m ²)を記載して下さい（概算で結構です）	建物の延床面積(m ²)を記載して下さい（概算で結構です）	Is値がいくつか不明の場合は○を表示して下さい	Is値0.6未満（自動で表示されるため、病院での記載は不要です）	Is値0.3未満（自動で表示されるため、病院での記載は不要です）			
	和歌山	民間その他	医療法人やすだ堀口記念病院	和歌山市	和歌山医療圏	150					○						

- 記載上の注意
- 1) 調査対象となる病院は、医療法第1条の5第1項に規定する全ての病院です。
 - 2) 病院機能欄は病院が該当するものに「○」を記載して下さい。
 - 3) 設置主体は、「国立（独立行政法人・国立大学法人含む）」、「公立（地方独立行政法人含む）」、「公的（日赤、済生会、厚生連、北社協）」、「民間その他」のうち、該当するものを記載して下さい。
 - 4) Q1、Q3、Q4は該当するものに「○」を記載して下さい。（どれか一つに「○」を記載）
 - 5) Q2は、耐震診断の結果、未耐震の建物に係る構造耐震指標（Is値）を小数点以下第2位まで記載して下さい。

病院数	病院機能				Q1					Q2							
					A	B			C	D							
1	0	0	1	0	1	0	-	-	-	0	-	0	-	0	0	0	0